

都市生活者とサービス化社会

東京の居住中心地域(=準都心)の『生活者』と『生活系サービス事業』の需給関係を検証する
—事業所統計(経済センサス)で見る東京準都心 15 エリアの産業特性と主要事業—

第八回 昼間人口とサービス業の相関から見る地域社会の魅力

<目次>

はじめに

I ー昼間人口とサービス業の相関(p.3)

II ーサービス業供給の内容から見る都市の魅力【便利性、安全・安心性、快適性】(p.6)

III ーサービス業から見る都市の魅力「地域ランキング」(p.7)

都市には様々なサービス事業が立地しているが、それらのサービス事業が各行政区エリアでどのように受け入れられているのか、また、各地でどのような種類のサービス業が充実しているのか？そしてそのサービス業は、都市生活者に何を提供するのか。その提供するサービス内容は、都市の魅力の因子である「生活の便利性」や「安全性」、あるいは「快適性」とどう相関するのか？

本レポートでは、東京都市圏が多様なエリアの姿を見せる中、各行政区エリアとその地域のサービス業の供給度合いを都市の魅力という視点から数回にわたり、エリアの多様化に注目し分析を進めてきた。

多様化するエリアの分析として、各行政区エリアの「地理条件(歴史や地形、あるいは交通条件など)」から、あるいは「東京都 23 区各行政区の年齢別人口構成の差異(例えば高齢者人口、核家族世帯など)」、また「単身世帯・シングルライフ」、そして「地価」などいくつかのテーマで多様化する東京の地域について整理し、その上で各地域に立地するサービス業との需給関係を見ながら都市の魅力についてレポートしてきた。

今回は、最も地域の動的な姿を示唆する「昼間人口」に注目し、多様化している地域と、その地域のサービス業との相関をとおして東京各エリアの都市の魅力を見てみた。

執筆者 マーケット・プレイス・オフィス代表 立澤芳男(たつざわよしお)

■流通系企業の出店リサーチ・店舗コンセプトの企画立案

／都市・消費・世代に関するマーケティング情報収集と分析

■現ハイライフ研究所主任研究員・クレディセゾンアドバイザースタッフ

■元「アクロス」編集長(パルコ)／著書「百万人の時代」(高木書房)ほか

第八回 昼間人口とサービス業の相関から見る地域社会の魅力

はじめに

人が日常生活において繰り返す基本的かつ具体的な活動は、主に食事、排泄、整容(着替え、洗面、歯みがき、整髪など)、移動、入浴などの行為・動作である。その基礎的な生活活動を支えるのは、例えば小売業や美容院・クリーニング店などのサービス業である。そして、生活を拡充させたり、レベルアップさせるためのサポートとして宿泊サービス、レジャーサービス、金融サービス、教育サービス、情報サービス、医療サービス、レンタルサービス、専門技術サービス、アウトソーシングサービス、郵便、運輸(物流)、交通、通信、外食、エンターテインメント、コンサルティング(法務、税務など含む)など、様々なサービス業がある。当然のことながら、それらのサービス業が事業化されるのは生活ニーズと、ある程度の人口ボリュームを必要とする。

サービス業という事業は、基礎的な生活活動を支えるサービス事業は「夜間人口≠居住人口」を対象とするが、それ以外の例えば宿泊、外食・遊興などのサービス事業は「昼間人口≒活動人口≒商圈人口」を対象とする。その意味においてサービス事業所は、地域によって「夜(常住者)の顔」と「昼(流入者)の顔」を持っている。

エリアの地域格差や特徴を把握する場合、「常住人口」だけでなく「昼間人口」に焦点を合わせ、サービス業との相関関係を整理しなければならない。昼間人口というのは、従業地・通学地を反映した昼間の人口のことをあらわす。

【算出式】 昼間人口 = (1)常住人口 - (2)流出人口 + (2)流入人口

* (1)国勢調査の「非労働力人口、完全失業者及び農林水産業就業者等」

* (2)事業所・企業統計調査の「第2次・第3次産業従業者数及び生徒・学生数」

I-1 昼間人口とサービス業の相関

1. 東京都における「昼間人口」行政区比較

都心部では昼間人口のほうが多くなり、ベッドタウンでは夜間人口のほうが多くなる。昼間人口が夜間人口の2倍以上になる地域は、日本で市区町村別に見たとしても10ヶ所程度と少ないが、東京都千代田区のように昼間人口が夜間人口の10倍以上にもなる極端な例もある。昼夜間人口比率は、千代田区が1,738.8と最も高く、次いで中央区493.6、港区432.0の順となっている。

区部の昼間人口は、港区の886,173人が最も多く、次いで千代田区819,247人、世田谷区812,810人の順となっている。学生が4万人以上流入するのは、千代田区、新宿区、文京区、世田谷区、渋谷区、豊島区の6区。

		昼間人口	昼夜間人口比率	昼間人口密度	夜間人口密度		流入人口			
							計	通勤者	通学者	
1位	港区	886,173	432.0	43,568.0	10,085.1	1位	千代田区	782,559	709,786	72,773
2位	千代田区	819,247	1,738.8	70,382.0	4,047.7	2位	中央区	517,968	514,546	3,422
3位	世田谷区	812,810	92.7	13,994.7	15,102.2	3位	港区	724,402	691,943	32,459
4位	新宿区	750,120	229.9	41,147.6	17,899.6	4位	新宿区	494,842	428,326	66,516
5位	大田区	684,451	98.7	11,511.1	11,661.2	5位	文京区	202,292	148,811	53,481
6位	足立区	608,632	89.1	11,440.5	12,846.4	6位	台東区	160,764	153,088	7,676
7位	中央区	605,926	493.6	59,521.2	12,059.1	7位	墨田区	101,779	94,871	6,908
8位	練馬区	588,243	82.1	12,214.3	14,869.7	8位	江東区	232,873	225,038	7,835
9位	江戸川区	570,877	84.1	11,472.6	13,644.8	9位	品川区	268,096	249,220	18,876
10位	江東区	548,976	119.1	13,745.0	11,537.8	10位	目黒区	102,603	84,653	17,950
11位	品川区	527,019	144.3	23,196.3	16,078.4	11位	大田区	170,905	161,467	9,438
12位	渋谷区	520,698	254.6	34,460.5	13,533.6	12位	世田谷区	179,910	121,423	58,487
13位	板橋区	493,747	92.1	15,348.1	16,656.0	13位	渋谷区	366,773	325,616	41,157
14位	杉並区	480,172	87.4	14,114.4	16,154.3	14位	中野区	72,462	60,058	12,404
15位	豊島区	422,995	148.6	32,513.1	21,881.5	15位	杉並区	96,814	71,908	24,906
16位	葛飾区	376,235	85.0	10,814.5	12,721.6	16位	豊島区	210,563	166,530	44,033
17位	文京区	345,423	167.2	30,541.4	18,269.3	17位	北区	86,049	72,718	13,331
18位	北区	321,581	95.8	15,618.3	16,296.5	18位	荒川区	48,064	43,122	4,942
19位	台東区	294,756	167.5	29,241.7	17,453.2	19位	板橋区	102,693	84,329	18,364
20位	目黒区	293,382	109.3	19,958.0	18,253.7	20位	練馬区	76,450	65,751	10,699
21位	中野区	289,176	91.9	18,548.8	20,189.2	21位	足立区	84,303	80,448	3,855
22位	墨田区	279,272	112.8	20,310.7	18,007.7	22位	葛飾区	52,546	48,946	3,600
23位	荒川区	191,626	94.3	18,786.9	19,931.0	23位	江戸川区	70,809	64,107	6,702
注	データ出所: 国勢調査 2005年		100超 =太字						30万人 以上太字	4万人 以上太字

2. サービス業事業対象人口としての昼間人口

本レポートにおけるサービス業の事業領域は、第三次産業とほぼその範囲を同じくし、広義にサービス産業を指している。運輸、通信、商業、金融、公務、自由業、あるいは理容業など、用役(サービス)という無体物の商品を提供する産業である。経済の発展が一定段階に達すると、国民総生産に占めるこの部門の比率が向上する。特に経済発展が進む東京都市圏におけるサービス部門の貢献度は大きい。

サービス業は多種多様であり、特に最近では新たなサービス業の出現および、その成長が著しい。情報提供をめざした情報サービス業、家事や雑事一般を代行する代行サービス業などがあり、サービス業の発生とその成長は、時代を先取りし、時代を映す鏡であるといえる。

最近、事業所が増え、注目を浴びているサービス業は、シルバーサービスで民間の分野において、介護サービスや医療サービスも提供する有料老人ホームや、高齢者が短期間入所するショートステイ、在宅介護サービス、入浴サービス、介護用品レンタル(賃貸)サービスなどが提供されるようになった。また、食材宅配業、保育サービス、清掃サービス、雑務の代行、ホームセキュリティ(家庭と警備会社を回線で結び失火、ガス漏れ、盗難等の異常事態を通報する)などがあげられる。

一方、余暇・教養サービスでは、レジャー・スポーツ関連サービスの分野でゴルフ、テニス、アスレチック、スイミング、乗馬、ジャズダンス、エアロビクスダンスなどのクラブ(スクール)が増え、教養関連サービスの分野では、カルチャーセンターや各種教室(講座)などのサービスが、多種提供されている。会員制取引をとるものが中心であるが、その取引も多様化・複雑化してきている。

そして、最も注目されるのが「美容」の分野で、見た目の美しさを追求していくパーマ、カット、セット等の造形的、装飾的な美容法とは異なり、体形や肌、毛髪それ自体を対象として素材自体を美しく、若々しく保つことなどが目的とされ、エステティックで痩身美容、美顔、脱毛等のサービスを提供している。

事業展開においては、基本的な人口データとして常住人口がありよく利用されるが、サービス業という事業特性から見ると常住人口だけでなく、地域に流入する通勤者・通学者を対象とすべきであろう。そして地域のサービス業の需給関係を比較する場合、昼間人口当たりの供給状況から地域の実態が明らかになる。

本レポートでは、「昼間人口1万人あたりのサービス事業所数(=支持人口・商圈)」を算出し、そのうえで東京都区部合計の平均値とメルクマール(=100)として各地域のサービス需給状況を比較し、サービス業の充足状況(=都市魅力)の地域の格差を見た。各地域におけるサービス業の需給関係の充足度のメルクマールとして、「地域人口1万人当たりの事業所数【民営】」をチェックした。

▼地域におけるサービス業の供給力メルクマール(=行政区の昼間人口1万人当たり事業所数)

サンプル例示: 東京都 23 区合計、港区、杉並区 * 事業所数は総務省「経済センサス 24 年」、人口は「国勢調査 22 年」

		東京都区部合計部		港 区		杉 並 区	
昼間人口		1,171 万人		89 万人		48 万人	
事業種類	事業所数	1 万人当たり	事業所数	1 万人当たり	事業所数	1 万人当たり	
百貨店、総合スーパー	76	0.06	1	7.3	1	2.1	
その他の各種商品小売業	75	0.06	4	10.2	2	4.2	
飲食品小売業(コンビニなど)	11,810	10.08	565	1233.1	586	1220.4	
医薬品・化粧品小売業	6,467	5.52	306	660.4	304	633.1	
消費生活系事業	18,428	15.73	876	1911.0	893	1859.8	
洗濯業	5,446	4.65	125	635.5	344	716.4	
理容業	5,374	4.59	143	564.0	275	572.7	
美容業	9,646	8.24	413	920.4	588	1224.6	
一般公衆浴場業	628	0.54	3	74.5	28	58.3	
生活支援系事業	21,094	18.01	684	2194.5	1,235	2572.0	
郵便局	1,075	0.92	58	106.7	52	108.3	
協同組合(他に分類されないもの)	186	0.16	16	20.5	4	8.3	
自動車整備業	1,823	1.56	53	223.5	68	141.6	
生活サポート系郵便居	3,084	2.63	127	350.6	124	258.2	
病院	397	0.34	15	40.9	18	37.5	
一般診療所	7,217	6.16	371	679.4	442	920.5	
歯科診療所	7,300	6.23	492	720.3	415	864.3	
助産・看護業	179	0.15	8	19.0	19	39.6	
医療系サービス事業	15,093	12.89	886	1459.6	894	1861.8	
児童福祉事業	1,369	1.17	56	111.0	90	187.4	
老人福祉・介護事業	3,384	2.89	70	372.6	275	572.7	
福祉系事業	4,753	4.06	126	483.6	365	760.1	
社会保険労務士事務所	524	0.45	35	20.5	8	16.7	
獣医学業	741	0.63	17	77.4	64	133.3	
生活フォロー系事業	1,265	1.08	52	97.9	72	149.9	
スポーツ施設提供業	739	0.63	36	59.9	43	89.6	
公園、遊園地	80	0.07	8	1.5	4	8.3	
療術業	6,674	5.70	347	569.8	459	955.9	
生活娯楽レジャー系事業	7,493	6.40	391	631.2	506	1053.8	
学習塾	2,611	2.23	35	249.8	202	420.7	
教養・技能教授業	5,225	4.46	243	374.0	410	853.9	
教育文化系	7,836	6.69	278	623.9	612	1274.5	
宗教系	3,948	3.37	306	349.2	211	439.4	

II—サービス業供給の内容から見る都市の魅力【**便利性、安全・安心性、快適性**】

都市の魅力として重要なファクターである「便利性」「安全性」「快適性」を提供しているのは多種多様なサービス業であるが、エリアとサービス業の相関について、今までのレポートから明らかになったことを整理しておこう。

▼都市の魅力とサービス業類【民営事業に限定】				
都市の魅力	ライフスタイル	サービス分野	対象サービス業事業	
サービス供給量総合力	利便性	消費生活系事業	その他の飲食料品小売業(コンビニなど)、医薬品・化粧品小売業	
		生活支援系事業	洗濯業、理容業、美容業、一般公衆浴場業	
		生活サポート系	郵便局、自動車整備業	
	安心・安全性	医・職・住	医療系サービス事業	病院、一般診療所、歯科診療所、助産・看護業
			福祉系事業	児童福祉事業、老人福祉・介護事業、児童福祉事業
			生活フォロー系事業	社会保険労務士事務所、獣医学
	快適性	遊・休・知	娯楽レジャー系	スポーツ施設提供業、公園、遊園地
			教育文化系	学習塾、教養・技能教授業
			宗教系	神道系宗教、仏教系宗教、キリスト教系宗教、その他の宗教

- ①東京都の行政区は、一般的に商業と消費生活関連のサービス業の供給は充実しており、生活の「便利性」は確保されている。しかし、昼夜間人口のギャップが見られるエリアでは、病院・医療など「安心・安全性」や、娯楽レジャーなど「快適性」を提供するサービス業は不足気味で、地域によるばらつきがある。
- ②夜間人口密度が低く、昼間人口が多い東京都の都心や副都心などにおいては、企業の効率的なグローバル・バリュー・チェーンの構築を通じて付加価値を創出することをサポートするサービス業が充実している一方で、夜間人口密度が高く昼間人口が少ない都心以外の行政区においては生活行動のニーズに応えた個人向けサービス産業(主に個人向けにサービスを提供する小売、宿泊、飲食サービス、生活関連サービス、娯楽、医療・福祉等)が充実している。
- ③サービス業は東京都行政区区部一般的にそれなりの供給がみられるが、都心・副都心から離れ昼間人口が少なく夜間人口を下回るなど流出人口エリアになっている地域は、外部から人を集めるレジャーや余暇などの「快適性」サービス業は少ない。
- ④小売業などは新宿区や渋谷区、豊島区などの副都心部に集積しているが、それら副都心エリアには昼間就業者が多くサービスニーズが医療や教育など様々な分野にわたるため、多様なサービス業が進出している。サービス事業の供給が多い上に、競争も激しいため利便性だけでなく、レジャー娯楽などの「快適性」を提供するサービス業が充実している。

⑤古くからの居住エリアは、人口が多いエリアだけに「便利性」分野のサービスが充実している一方、医療や教育など「生活の安全・安心」分野のサービス業や地元型の商業やレジャーの充実している。最近マンションなどで人口が増え続ける墨田区や荒川区を除くエリアでは、サービス業の充実度は東京都平均の7割のレベルとなっている。とはいえ、墨田区や荒川区においては、人口増に伴い商業関連のサービス供給が増え「生活の便利性」サービスは充実している。東京でもこのエリアは人口も増え、高齢者が増えているエリアであるため病院・医療など「生活の安心・安全」を提供するサービス業が目立つ。

⑥昼間人口が少ないいわゆる居住中心の地域では、生活者行動と密接にかかわりあう「個人向けサービス業」は、「生産と消費の同時性」という特徴を強く持つことから、当該地域においては、限定年齢層の人口減少による需要密度の低下は、生産の低下につながる。今までの考察では、地域の人口の変化率と個人向けサービス(狭義)や小売の売上高の伸びを比べると、両者の間に緩やかな正の相関が観察できる。ある年齢層の人口減少が需要密度の低下を通じてある個人向けサービス産業の生産を下押しする可能性があることを示唆しているわけで地域経済に大きく影響する。

Ⅲーサービス業から見る都市の魅力「地域ランキング」

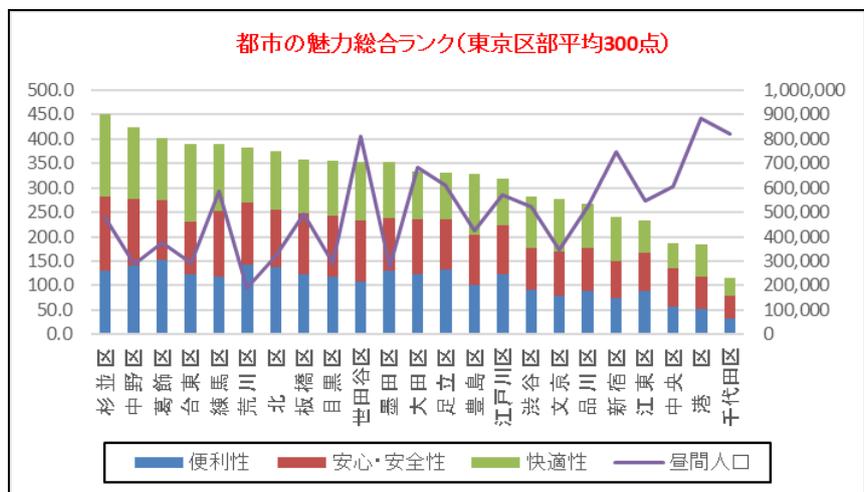
総合ランキング 第一位は「杉並区」、第2位は「中野区」、第3位は「葛飾区」

第一位は「杉並区」、第2位は「中野区」、第3位は「葛飾区」という3行政区がトップ3で、総合ポイントは400点を超える。

トップ3の共通点は、昼間人口が40万人前後という点と、例えば杉並区は安心・安全性・快適性でハイスコア、中野区は便利性和快適性でハイスコア、葛飾区は便利性和ハイスコアを出すなど特徴のあるサービス業が多く立地しているという点に共通点がある。

逆にサービス業から見る都市の魅力の総合スコアが低いのは、「中央区」「港区」「千代田区」の都心3区だ。昼間人口が東京区部で1位、2位を争う大規模な業務エリアである。もともと住民も少なくオフィス街であっただけにサービス業の立地としては不適だった。最近は大規模ビルの商業施設や、サービス施設が入居するようになっており、コンビニエンスストアやマッサージ店、ランチ向けのレストランが出店しているが、町の魅力にはつながらない。

▼都市の魅力「総合」ランキングーサービス業から見るー						
ランキング		総合	便利性	安心・安全性	快適性	昼間人口
1位	杉並区	451.5	129.5	153.8	168.2	480,172
2位	中野区	425.2	140.4	137.6	147.3	289,176
3位	葛飾区	403.4	152.6	122.1	128.7	376,235
4位	台東区	388.9	123.5	107.1	158.3	294,756
5位	練馬区	388.8	118.6	135.0	135.3	588,243
6位	荒川区	383.3	143.8	125.1	114.5	191,626
7位	北区	374.4	137.1	118.0	119.2	321,581
8位	板橋区	358.0	124.3	122.9	110.9	493,747
9位	目黒区	356.5	118.6	124.0	113.9	293,382
10位	世田谷区	354.0	109.3	124.6	120.0	812,810
11位	墨田区	353.4	131.6	107.9	114.0	279,272
12位	大田区	333.3	122.6	113.2	97.5	684,451
13位	足立区	332.1	132.8	103.8	95.5	608,632
14位	豊島区	328.5	102.3	100.5	125.7	422,995
15位	江戸川区	318.9	124.1	99.0	95.8	570,877
区部平均値		300.0	100.0	100.0	100.0	—
16位	渋谷区	282.5	90.3	87.7	104.5	520,698
17位	文京区	278.0	79.4	90.3	108.3	345,423
18位	品川区	268.6	89.5	88.7	90.4	527,019
19位	新宿区	240.4	73.8	76.8	89.8	750,120
20位	江東区	232.5	88.0	79.9	64.5	548,976
21位	中央区	187.9	56.0	78.6	53.2	605,926
22位	港区	185.0	51.6	66.6	66.8	886,173
23位	千代田区	114.9	33.0	47.0	34.9	819,247



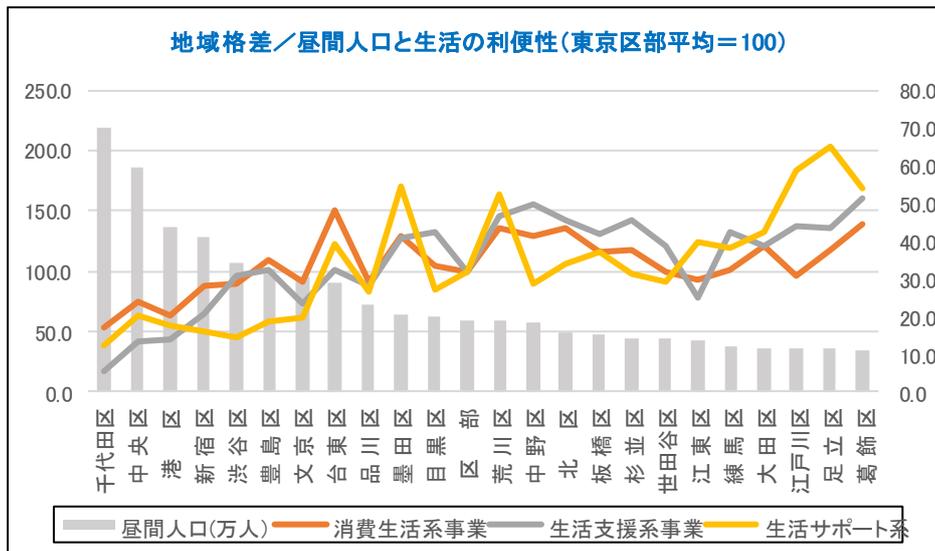
(1) 都市の魅力「**利便性**」サービス事業供給量地域別ランキング

利便性を提供するサービス業が充実しているのは、「葛飾区」、「荒川区」、「中野区」、「北区」、「足立区」など大型住宅地の開発がみられた行政区。生活支援・生活サポートサービス事業が充実。小規模事業所や自営業者が多いのもその理由と考えられる。

ワースト3は、昼夜間人口が極端に多い「中央区」、「港区」、「千代田区」の都心3区。居住者が少ないのが大きな原因だが、昼間人口ではなく夜間人口で見ると、居住者は十分すぎるほどのサービスが受けられる。保育所など子育てには大変住みやすいエリアとなっている。

都市の魅力	ライフスタイル	サービス分野	対象サービス事業
利便性	衣・食・住	消費生活系事業	その他の飲食料品小売業(コンビニなど)、医薬品・化粧品小売業
		生活支援系事業	洗濯業、理容業、美容業、一般公衆浴場業
		生活サポート系	郵便局、自動車整備業

利便性		利便性ポイント	消費生活系事業	生活支援系事業	生活サポート系	昼間人口
1位	葛飾区	152.6	138.5	160.9	169.6	376,235
2位	荒川区	143.8	135.6	146.0	164.5	191,626
3位	中野区	140.4	128.6	156.1	89.3	289,176
4位	北区	137.1	136.2	141.7	106.3	321,581
5位	足立区	132.8	117.3	135.3	202.8	608,632
区部平均値		100.0	100.0	100.0	100.0	19.0
19位	文京区	79.4	90.7	73.3	61.6	345,423
20位	新宿区	73.8	88.9	65.0	49.6	750,120
21位	中央区	56.0	74.2	42.3	63.9	605,926
22位	港区	51.6	62.8	42.9	54.4	886,173
23位	千代田区	33.0	53.3	17.1	38.5	819,247



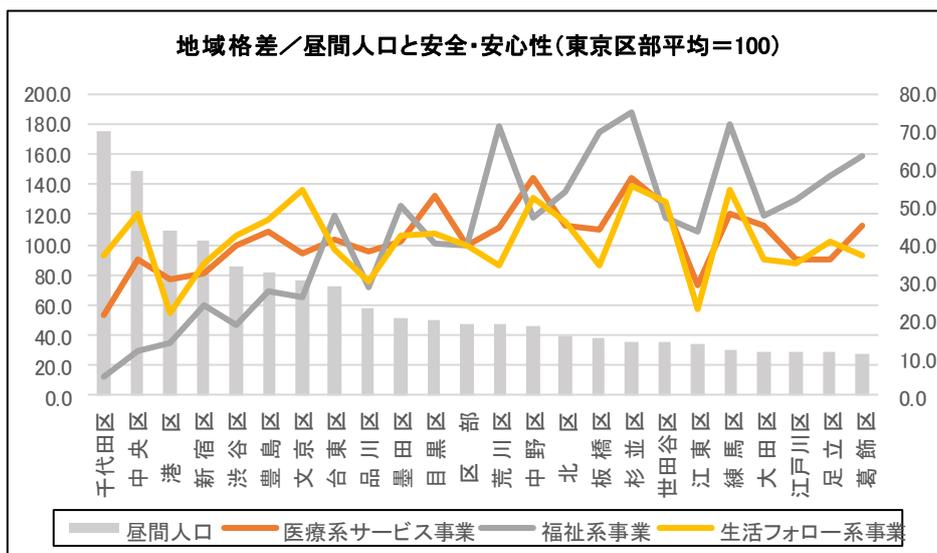
(2)都市の魅力「安心・安全性」サービス事業供給量地域別ランキング

安心・安全なエリアベスト5は、「杉並区」、「練馬区」、「中野区」、「荒川区」、「世田谷区」の順。「荒川区」を除き東京山の手エリア。住宅居住地として発展し、総合病院等大きな医療施設も多い。

ワーストエリアは「中央区」、「港区」、「千代田区」の都心3区に加え「新宿区」と「江東区」が入る。いずれも50万人以上の昼間人口がいるエリア。

都市の魅力	ライフスタイル	サービス分野	対象サービス事業
安心・安全性	医・職・住	医療系サービス事業	病院、一般診療所、歯科診療所、助産・看護業
		福祉系事業	児童福祉事業、老人福祉・介護事業、児童福祉事業
		生活フォロー系事業	社会保険労務士事務所、獣医療

安全・安心性		安心・安全性ポイント	医療系サービス事業	福祉系事業	生活フォロー系事業	昼間人口
1位	杉並区	153.8	144.5	187.3	138.8	480,172
2位	練馬区	137.6	120.7	179.7	136.9	289,176
3位	中野区	135.0	144.4	117.6	131.3	588,243
4位	荒川区	125.1	111.4	178.7	87.0	191,626
5位	世田谷区	124.6	126.2	118.5	128.7	812,810
区部平均値		100.0	100.0	100.0	100.0	
19位	江東区	79.9	72.9	108.2	57.3	548,976
20位	中央区	78.6	90.7	29.3	120.7	605,926
21位	新宿区	76.8	81.4	59.5	87.6	750,120
22位	港区	66.6	77.6	35.0	54.3	886,173
23位	千代田区	47.0	54.0	12.6	92.7	819,247



(3) 都市の魅力「快適性」サービス事業供給量地域別ランキング

「杉並区」、「台東区」、「中野区」、「練馬区」、「葛飾区」が、ベスト5。

杉並区は、学校が多く教育文化系や公園など娯楽レジャー系のサービスが充実。台東区は、神社仏閣が多い。中野区は、学校や病院が多く、練馬区には教育系サービスが充実している。

ワーストエリアは都心3区に「新宿区」、「江東区」が加わるが、昼間人口が50万人以上で常住人口とのギャップがサービス業の足かせになっているように思われる。

都市の魅力	ライフスタイル	サービス分野	対象サービス事業
快適性	遊・休・知	娯楽レジャー系	スポーツ施設提供業、公園、遊園地
		教育文化系	学習塾、教養・技能教授業
		宗教系	神道系宗教、仏教系宗教、キリスト教系宗教、その他の宗教

快適性	快適性ポイント	娯楽レジャー系事業	教育文化系	宗教系	昼間人口
1位	杉並区	168.2	164.7	190.5	480,172
2位	台東区	158.3	116.7	75.0	294,756
3位	中野区	147.3	149.2	158.7	289,176
4位	練馬区	135.3	124.6	170.2	588,243
5位	葛飾区	128.7	130.0	117.6	376,235
区部平均値	100.0	100.0	100.0	100.0	
19位	新宿区	89.8	83.3	94.2	750,120
20位	港区	66.8	69.0	46.9	886,173
21位	江東区	64.5	74.6	56.1	548,976
22位	中央区	53.2	68.1	52.3	605,926
23位	千代田区	34.9	44.3	33.9	819,247

